

# 特別報告 【シリーズ解体】

## 谷口雅宣 三代目総裁 によって失われしめられたもの

### その10 — 生政連、青年局、幹部養成学校等の解体

#### 生長の家政治連合（生政連）の解体

今から78年前の昭和20年、大東亜戦争の敗戦によって希望を失った国民に対し谷口雅春先生は、日本再建のための一大政策、「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。

それは、立教以来の個人の救済運動とともに、国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

その第一の柱が、政治結社「全国精神主義連盟」の結成であり、谷口雅春先生は次のようにご決意をお述べになりました。

「汝等天地一切のものと和解せよ」との信条に生活せる吾等が戦争を未然に防ぐことを得ざりしは吾等が単なる宗教運動に終始して其精神を政治力にまで発展せしめざりしがためなり。…起つて宗教的信念を政治運動に発展して救国のために新党を結成せんとす」(『生長の家』誌昭和20年11月号。社会事業団蔵)

こうして尊師は、戦後の生長の家の出発を、真理の政治的展開による国家救済として推進しようとされたのです。

しかしながらこの救国構想は、占領軍による谷口雅春先生の公職・執筆追放によって日の目を見ることなく、その間、占領軍による日本解体の諸施策が、次々と推し進められていきました。

やがて追放解除となった谷口雅春先生は、講和独立した昭和27年以降、天皇国日本再建への祈りを込めた御文章(『日本再建の道を拓くもの』等々)を次々に発表されました。

そして、日本民族の魂の解体を意図した「占領憲法」の改正と、胎児の生命の中絶を公許した「優生保護法」の改正という二大悲願を

達成するには、生長の家教団自らが政界に進出するほかはないとお考えになり、昭和39年8月28日、政治結社「生長の家政治連合」(生政連)が結成されたのです。

爾来、参議院全国区に玉置、村上議員を送り出し、元号法制化等の華々しい活動が展開されましたが、二大悲願は達成をみることなく、尊師ご存命中の昭和58年7月6日、二代目総裁となられる谷口清超先生、そのあとを継ぐ谷口雅宣氏の考えにより突然、生政連は活動停止となり、その後秘密裏に解散させられました。

その理由について信徒には、「純粋な信仰にもとづく宗教運動が疎かになった」「旨の説明が行なわれなかったが、本当の理由は、谷口雅宣氏の心の内に巣くっている左翼的思想に反する、生政連が主体となつて取り組んでいた「愛国運動」を阻止したかったということが多くの識者から論評されています。

#### 共産党と同一の谷口雅宣氏の政治的発言

以下、それを裏付ける谷口雅宣氏の政治的発言を時系列的に記します。

- ① 平成18年、「女性・女系天皇容認論」を展開。
- ② 平成21年、保守系の「産経新聞」を批判し、「朝日新聞」を推奨。
- ③ 平成23年及び平成24年の2月11日、「邇邇藝命の天孫降臨」を、「神武天皇が天孫降臨した」と2年続けて誤って発言する等、神話の軽視。
- ④ 平成25年、安倍首相の靖国参拝を批判。
- ⑤ 平成26年1月、東京都知事選挙で、共産党が推薦した宇都宮健児候補を支持。
- ⑥ 平成26年4月、「日本の皇室でも、韓国から招いた時期もある」と発言。
- ⑦ 平成26年、「集団的自衛権」に反対を表明し、改めて「大東亜戦争」を否定。「占領憲法」を

「平和憲法」として擁護する立場を鮮明にする。

⑧ 平成27年、安保法制を「戦争法案」として批判。(「戦争法案」という言葉は、日本共産党と社民党が盛んに使った言葉であり、谷口雅宣氏が日本共産党と社民党と同一の思想であることが明確になった)

⑨ 平成28年6月9日、「今夏の参議院選挙に対する生長の家の方針「与党とその候補者を支持しない」と発表し、安倍内閣打倒と、事実上の日本共産党支持を表明。

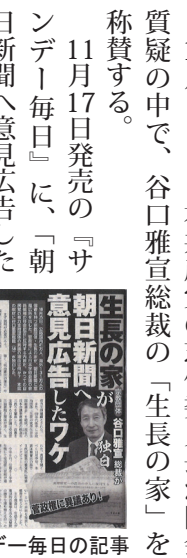
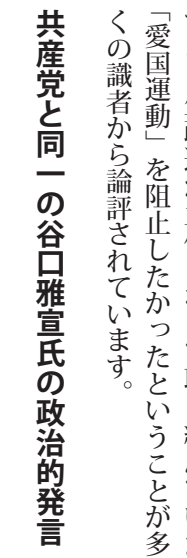
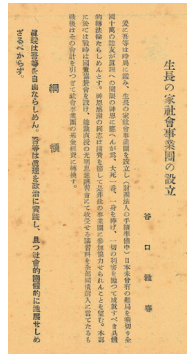
⑩ 令和2年10月14日、「日本学術会議」問題について、「しんぶん赤旗」と同じ論調の「真理探究への政治介入に反対する」との声明を発表。10月25日、右の声明を朝日新聞に「意見広告」として掲載。

10月28日付の「しんぶん赤旗」に、現教団の「意見広告」が好意的に紹介される。11月4日、日本共産党の志位委員長が国会質疑の中で、谷口雅宣総裁の「生長の家」を称賛する。

11月17日発売の『サデー毎日』に、「朝日新聞へ意見広告したワケ」と題する谷口雅宣総裁の独自記事が掲載される。

#### 愛国運動の中心となった 本部青年局の解体と青年会の完全変質

かつて青年会の全国大会・青年特別教修会は、3日間一万人を集めて開催され、谷口雅春先生はじめ四先生から直接ご指導していただく唯一の場でありました。しかし昭和54年、2日間に短縮、昭和58年





谷口雅春先生は、全国から集まった愛国青年に期待を寄せられていた。

からは1日開催へとその規模が縮小されていききました。

そして、谷口雅春先生がご昇天された直後の昭和60年

8月28日の理事会で、青年会運動を牽引していた当時の青年会長、副会長はじめ青年会中央部の幹部が次々に解任。天皇国日本を支える百万青年を生み出す運動の中心であった青年局は解体されました。それは、「生政連解体」と全く同じ理由によるもので、青年局が愛国集団であったからに他なりません。

これ以降、青年会の組織はみるみる弱体化し、平成27年には生長の家青年会の「宣言・綱領」が廃止、「Our Vision」なるものに変質させられました。

生長の家青年会は、戦後一貫して愛国青年の誇りを持って運動を展開してきましたが、この改悪によって青年会運動に完全な終止符が打たれました。

その結果、教団の次代を担う青年会の委員長不在の教区が続出し、生学連(大学生)、生高連(高校生)、ジュニア友の会(中学生)の各組織も、ほとんど壊滅するところとなったのです。

## 新教育者連盟の切り捨て

終戦後、日本の前途を憂慮された谷口雅春先生は、教育界の正常化にも取り組み、昭和28年1月1日、「新教育者連盟」

(新教連)を設立されました。以後、新教連は、生命の真相哲学に基づく純然たる教育団体として、教育面から光明化運動を展開していききました。

ところが、神の子の教育、愛国心教育、神話教育、道徳教育などを通して素晴らしい成果をあげてきた新教連を、谷口雅宣氏は教団からの人的・物的・組織的支援を打ち切つてゆくのです。たとえば、①新教連理事をはじめとする新教連役職から本部職員を全員外す等、教団からの種々の支援の打ち切り。

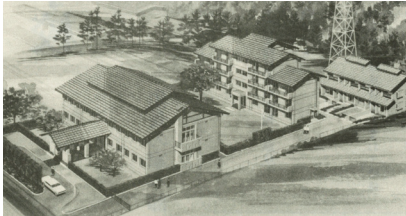
②新教連の事務所の生長の家本部会館からの追い出し。

③各教区の新教連支部長の9割以上を新教連から去らせ、残った支部長に対しては、地方講師辞任を迫る文書の送付。

## 生長の家幹部養成学校の廃校

平成15年11月以降、こうした施策で、新教連は教団から切り捨てられたのです。生長の家幹部養成学校は、立教50年の記念事業として、大学を卒業した優秀な者に2年間教義教養を施し、将来の生長の家を担う人材とすることを目的として、昭和57年4月に山梨県の河口湖町に開校されました。

しかし、生政連活動停止からわずか3カ月後の昭和58年10月の人事異動において実質的に解体され、開校2年目にして早や廃校への道をたど



廃校となった幹部養成学校

ることになりました。(現在、休校扱いの実質廃校)

## 生長の家養心女子学園の廃校

生長の家の教育法によって、将来の家庭の光明となるべき婦人を養成するため、昭和10年11月1日、本部内に花嫁学校「生長の家家庭光明寮」は開寮されました。



谷口雅春先生ご夫妻を中心に家庭光明寮の入寮式(左起順)

その後、生長の家文化女学院(広島県尾道市)、生長の家淑徳大学寮(長崎市)、生長の家養心女子大学寮(広島県府中市)、専門学校生長の家養心女子学園(山梨県富士河口湖町)と移り変わりながら76年の間、多くの人材を生み育てて来ましたが、平成23年3月の休校を以て実質廃校となりました。

## 三者組織(相愛会、白鳩会、青年会)の否定と教団のサロン化

生長の家教団において「相愛会」「白鳩会」「青年会」の三者協力の組織体制は、昭和34年3月に開催された第4回幹部研修会において打ち出され、爾来50年以上にわたって生長の家の運動の中核を担ってきました。

ところが、平成27年11月19日に開催された「生長の家代表者会議」において、三者組織を実質的に無化するプロジェクト

ト型組織(SNIオーガニク菜園部、SNI自転車部、SNIクラブト倶楽部)の創設が発表され、相愛会、白鳩会、青年会と同列に置かれることになりました。SNIとは「SEICHO-NO-IE」の略称で、家庭菜園、自転車、工作に興ずる同好会です。これにより、厳粛で清浄で宗教的な雰囲気であった生長の家の組織は一掃され、趣味化、遊戯化、稚拙化したサロン団体となってしまったのです。

## 「天皇国日本」の徹底排除

雅宣氏の教団革命、変質の所業はまだありますが、「天皇国日本」を徹底排除した歴史の真実を、紙面の許す限り紹介しておきます。

○昭和61年、運動スローガンから、前年まであった「日本国実相顕現」が消える。  
○昭和62年、「生高連宣言・綱領」が廃止となる。「愛国」の文字があったためと思われる。  
「護国の神剣―生政連讃歌」の排除が決定し、愛唱歌も大幅に制限される。

○平成11年、相愛会運動方針中の「天皇国・日本」の文言を批判し、谷口雅春先生の「天皇国・日本」の教えを否定。  
○平成25年、「生長の家栄える会」の会則から「本会は聖典『生命の真相』の精神を信奉し、…」の文言が削除される。

また、「生長の家教職員会」の会則から『人間神の子の真相』『日本国の実相』『天皇の実相』を顕現し真に平和な世界の建設に寄与する」の文言が削除される。

こうして雅宣氏は、谷口雅春先生が心血を注いでおつくりになった組織とその精神を破壊したのです。ああ!!

(引用の原文は一部間漢字、歴史的仮名遣い)